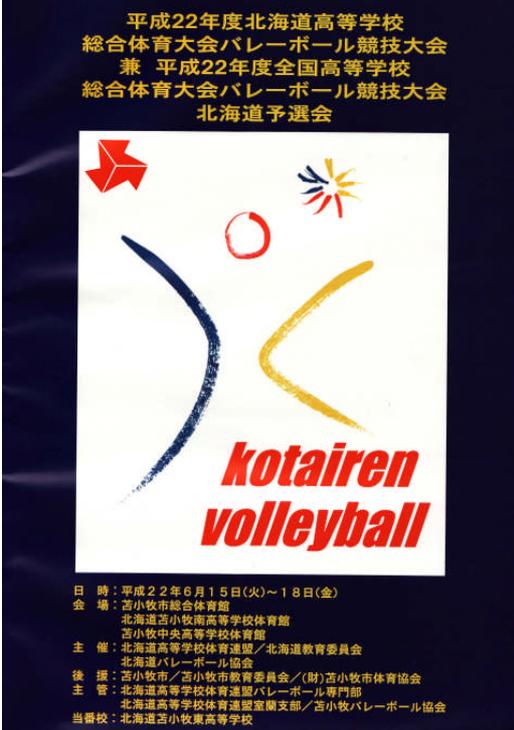
		発行所 北海道高等学校体育連盟 バレーボール専門部 発行責任者 杉木 恵 編集責任者 高田 志朗 平成23年3月15日 発効
---	--	---

第63回 北海道高等学校総合体育大会 バレーボール競技会

期日：平成22年6月15日(火)～18日(金) 当番校：北海道苫小牧東高等学校

会場：苫小牧市総合体育館、北海道苫小牧南高等学校体育館、苫小牧中央高等学校体育館

男子優勝 とわの森
準優勝 札幌藻岩
3位 東海大四
4位 札幌第一
ベスト8 白樺学園 恵庭南 釧路湖陵 北見緑陵
ベスト16 函大有斗 小樽桜陽 旭川工業 遠 軽 函館工業 深川 西 豊 富
予選グループ戦 静 内 苫小牧東 釧路工業 伊達緑丘 岩 緑 陵 旭川北



平成22年度北海道高等学校
総合体育大会バレーボール競技大会
兼 平成22年度全国高等学校
総合体育大会バレーボール競技大会
北海道予選会

日時：平成22年6月15日(火)～18日(金)
会場：苫小牧市総合体育館
北海道苫小牧南高等学校体育館
苫小牧中央高等学校体育館
主催：北海道高等学校体育連盟/北海道教育委員会
北海道バレーボール協会
後援：苫小牧市/苫小牧市教育委員会/(財)苫小牧市体育協会
主管：北海道高等学校体育連盟バレーボール専門部
北海道高等学校体育連盟室蘭支部/苫小牧バレーボール協会
当番校：北海道苫小牧東高等学校

女子優勝 帯広南商業
準優勝 札幌大谷
3位 旭川実業
4位 札幌山の手
ベスト8 登別大谷 網走南丘 札幌北斗 釧路江南
ベスト16 岩 内 東海大四 岩見沢西 帯広三条 小樽商業 深川 西 旭川大学 中 標 津
1回戦 函館大妻 遠 軽 啓北商業 北見北斗
予選グループ戦 函館稜北 苫 中央 恵庭南 稚内大谷 虻 田 苫小牧東 士別翔雲

とわの森の優勝は5年ぶり3回目である。主力は北海道中学校選抜の中心選手からなる1年生であるが数少ない2・3年生がうまくチームを引っ張って優勝を飾った。今後3年間が楽しみなチームである。札幌藻岩は3回目の準優勝で初準優勝の時も苫小牧東高校が当番であった。長年北海道高校男子の強化のため自チームを二の次にして活動されてきた鈴木監督であったため、誰もが全国大会出場を祝福した。

出場各チームとも、現3年生が引退した後の部員不足に悩む様相を呈しているが、とわの森、札幌藻岩、東海大四、恵庭南などが今後トップグループを形成しそうな状況がうかがえた。



帯広南商業は初優勝である。心技体共充実した仕上がりを見せての優勝であった。札幌大谷は最後の粘りに欠き、新人・春高に次ぐ三冠を逃した。監督が交代したばかりの旭川実業は最後まで集中力を切らずに3位に入ったのは今後に残した。予選グループで敗退した常連校である恵庭南、虻田は今後に期待したい。女子は上位4チームが固定化されつつあるが、若手の指導者が台頭しつつあり、現在は過渡期と思われる。全国上位を狙うには、この中から格段に抜き出したチームが現れるのを待ちたい。

春の高校バレー

平成22年度 第63回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道予選会

昨年までは選抜優勝大会という名称で実施されていた春高バレーは今回から選手権大会という呼び名に変更され、実施日も2カ月早くなり、全国大会は正月開催となりました。また、冠もジャパネット杯となり一新しました。大会の趣旨は、「本当に日本一強い高校チームを決める大会」という事で3年生の参加も可能になりました。そういう中で、男女とも決勝戦は白熱した試合になりました。

女子決勝戦 帯広南商 vs 札幌大谷→



選手宣誓



写真提供 プロフォートサニー

男子 参加42チーム

- 【優勝】とわの森 【準優勝】東海大四
- 【ベスト4】札幌第一、白樺学園
- 【ベスト8】尚志学園、函館工業、恵庭南、札幌藻岩
- 【ベスト16】函大有斗、啓北商業、旭川工業、斜里岩緑陵、江別、札幌月寒、釧路工業
- 【2回戦】北海、富緑峰、釧路湖陵、名寄北見緑陵、緑丘室栄、帯広工業、豊富紋別、伊達室清、倶知安、旭川北大麻、苫高専、小樽潮陵、函ラサール
- 【1回戦】静内、別海、岩見沢東、滝川西、苫小牧工、深川西、札幌南、札幌西北広島、札幌工業

女子参加56チーム

- 【優勝】帯広南商 【準優勝】札幌大谷
- 【ベスト4】旭川実業、札山の手
- 【ベスト8】帯広三条、国際情報、江陵、旭川大学
- 【ベスト16】留萌、中標津、網走南丘、恵庭南函館商業、遠軽、東海大四、旭川南
- 【2回戦】野幌、桧山北、滝川西、釧路明輝紋別、函館大妻、大麻、岩見沢西北海道栄、白樺学園、市立函館、虻田別海、稚内大谷、札幌北斗、旭川商業
- 【1回戦】北見緑陵、苫小牧東、静内、啓北商業、岩内札幌篠路、北見柏陽、登別大谷、深川西、釧路江南下川商業、札幌月寒、富緑峰、天塩、小樽商業倶知安、芦別、札幌旭丘、美唄聖華、千歳士別翔雲、岩見沢東、札幌藻岩、えりも



←男子決勝戦 とわの森 vs 東海大四



優勝チームに授与されたメダル

写真提供 プロフォートサニー

◆ 私学大会、天皇杯・皇后杯、新人大会の結果 ◆

◇平成22年度私学大会

期日：9月19日(土)～20日(日)

男 子

会場：北海道尚志学園高等学校体育館

- 【優勝】とわの森 【準優勝】東海大四
 【3位】札幌第一 【4位】尚志学園
 【5位】白樺学園 【6位】函大有斗
 【7位】北 海 【8位】函ラサール

女 子

会場：札幌北斗高等学校・札幌大谷高等学校

- 【優勝】札幌大谷 【準優勝】札幌山の手
 【3位】札幌北斗 【4位】苫小牧中央
 【5位】旭川大学 【6位】東海大四
 【7位】江 陵 【8位】帯広大谷

【女子予選】登別大谷、白樺学園、遺愛学院、函館大妻、旭川明成、稚内大谷、とわの森、北海道栄
 北 海、札幌第一、藤女子、札幌日大、札幌光星、函館白百合

◇平成22年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 北海道ブロックラウンド

日 程：9月5日(日)

会 場：苫小牧市総合体育館

【男子】

- 1回戦 とわの森 1 (27-25/17-25/20-25) 2 北海道クラブ
 札幌藻岩 0 (20 - 25 / 22 - 25) 2 札幌大学

- 【優勝】北海道クラブ
 【準優勝】magi c
 【3位】札幌大学、東海大札幌

【女子】

- 1回戦 帯広南商業 0 (19-20/19-22) 2 岩見沢教育大
 札幌大谷 2 (25-14/25-22) 0 道都大学
 2回戦 札幌大谷 2 (25-19/27-25) 0 北海学園大学
 決 勝 札幌大谷 0 (26-28/17-25) 2 岩見沢教育大

- 【優勝】岩見沢教育大
 【準優勝】札幌大谷
 【3位】CHOP!!、北海学園大学

◇平成22年度第6回北海道高等学校バレーボール新人大会

開催地：函館市 期日：2月4日(金)～6日(日)

会 場：函館市民体育館、市立函館高等学校、遺愛女子高等学校、函館白百合高等学校

男子 参加31チーム

- 【優勝】とわの森 【準優勝】東海大四
 【3位】札幌第一 【4位】啓北商業
 【ベスト8】札幌藻岩、浦 河、
 釧路湖陵、白樺学園
 【ベスト16】北 海、尚志学園、豊 富
 函館工業、苫小牧工、岩見沢緑陵
 旭川北、恵庭南
 【1回戦】帯広工業、遠 軽、小樽潮陵、倶知安
 根 室、深川西、斜 里、旭川工業
 江 別、滝川西、函大有斗、富良野
 北見工業、函ラサール、伊緑・室栄

女子 参加39チーム

- 【優勝】札幌大谷 【準優勝】旭川実業
 【3位】札幌山の手 【4位】帯広南商
 【ベスト8】東海大四、函館大妻、
 帯広三条、江 陵
 【ベスト16】国際情報、釧路明輝、深川西
 芦 別、士別翔雲、札幌北斗
 旭川商業、苫小牧中央
 【2回戦】中標津、滝川西、旭川大学、北見柏陽
 倶知安、啓北商業、小樽桜陽、天 塩
 函館商業、市立函館、美唄聖華、遠 軽
 恵庭南、留 萌、虻 田、富良野
 【1回戦】桧山北、北見緑陵、札幌藻岩、えりも
 大 麻、岩見沢農業、網走南ヶ丘

◆ 過去一年間の全国大会結果 ◆

◇第63回全国高等学校総合体育大会

男子

女子

7月31日(土)～8月3日(火) 沖縄県宮古島市

8月6日(金)～8月9日(月) 沖縄県那覇市・西原市

予選グループ戦

とわの森 1 (23-25/25-23/20-25) 2	山形中央 (山形)	帯広南商 0 (15-25/18-25) 2	宮崎日大 (宮崎)
札幌藻岩 0 (13-25/20-25) 2	坂戸西 (埼玉)	札幌大谷 0 (23-25/17-25) 2	四天王寺 (大阪)

敗者復活戦

とわの森 2 (25-23/25-19) 0	玉野光南 (岡山)	帯広南商 0 (15-25/22-25) 2	人環大岡崎 (愛知)
札幌藻岩 0 (21-25/17-25) 2	不来方 (岩手)	札幌大谷 0 (19-25/13-25) 2	増穂商業 (山梨)

決勝トーナメント1回戦

とわの森 0 (15-25/23-25) 2 霞ヶ浦 (茨城)

優勝 宇部商業 (28年ぶり2度目)

準優勝 福岡大附大濠

3位 市立尼崎、東洋

優勝 古川学園 (11年ぶり4度目)

準優勝 鹿児島女子

3位 東九州龍谷、九州文化学園

◇第65回国民体育大会バレーボール競技

10月1日(金)～10月4日(月) 千葉県

会場：城西国際大学スポーツ文化センター

会場：大網白里アリーナ

少年男子1回戦

北海道選抜 2 (25-23 / 25-19) 0 開智 (和歌山)

少年男子2回戦

北海道選抜 0 (25-27 / 21-25) 2 広島選抜

優勝 福岡県選抜

準優勝 神奈川県選抜

3位 長崎県選抜、創造学園 (長野県)

少年女子1回戦

北海道選抜 1 (25-20/17-25/12-25) 2 誠英 (山口)

優勝 古川学園 (宮城県)

準優勝 東九州龍谷 (大分県)

3位 九州文化 (長崎県)、京都橘

◇春の高校バレー 第63回全日本バレーボール高等学校選手権大会

:平成23年1月5日(水)～9日(日) 会場：東京体育館

少年男子1回戦

とわの森 0 (25-22/27-25) 2 福井工大福井 (福井県)

東海大四 0 (25-13/25-23) 2 都城工業 (宮崎県)

優勝 東亜学園

準優勝 鎮西

3位 東洋、大村工業

少年女子1回戦

帯広南商 0 (25-15 / 25-22) 2 近江 (滋賀県)

札幌大谷 1 (25-23/15-25/33-31) 2 金沢商業 (石川県)

優勝 東九州龍谷

準優勝 古川学園

3位 鹿児島女子、共栄学園

平成22年度 国民体育大会 バレーボール少年 北海道選抜チーム (身長順)

男 子						女 子					
監 督 櫻田 義人 (東海大四)						監 督 富田 誠治 (帯広南商業)					
コ ー チ 山田 和弘 (とわの森)						コ ー チ 平本 和久 (札幌大谷)					
コ ー チ 太刀川建一 (恵庭南)						コ ー チ 佐藤 和幸 (札幌国際情報)					
No	氏 名	学校名	学年	身長	出身中学	No	氏 名	学校名	学年	身長	出身中学
1	堤智久	札幌第一	2		札幌星置	1	伊関 悠	帯広南商	3		豊 頃
2	野坂 尚哉	函大有斗	3		上ノ国	2	高橋 佑芽	札幌大谷	3		札幌大谷
3	金子 航典	札幌工業	3		石狩厚田	3	吉田 愛那	札山の手	3		花川南
4	桜庭 恭佑	函大有斗	3		函館戸倉	4	古沢 ちこ	札幌大谷	3		函館戸倉
5	浅井 翼	札幌藻岩	3		札幌新川	5	黒田菜都美	札山の手	3		釧路鳥取
6	森本 隆浩	東海大四	3		幌 延	6	川合 葉月	札幌大谷	3		札幌大谷
7	横山 真司	東海大四	3		帯広川西	7	多地真実子	帯広南商	3		芽 室 西
8	一刀 正和	東海大四	3		音 更	8	岩崎 優香	旭川実業	3		旭川神居
9	小野寺勇紀	とわの森	2		岩見沢清園	9	遠山 美佳	札幌大谷	3		札幌大谷
10	山本 貴大	札幌藻岩	3		江別中央	10	山田 亜耶	帯広南商	3		広 尾
11	山崎 浩史	東海大四	3		江別中央	11	三田村梨奈	帯広南商	1		帯広南町

平成22年度高等学校9ブロック長身選手発掘育成合宿

北海道ブロック合宿チーム指名・個人指名選手一覧

期日:平成22年8月27日~29日

会場:芦別市総合体育館

<< 男子の部 >>

<< 女子の部 >>

No.	氏 名	学年	身長	学 校 名	No.	氏 名	学年	身長	学 校 名
1	堤 智久	2	190	札 幌 第 一	1	三 浦 茉 実	2	182	函 館 大 妻
2	矢 槁 俊 樹	2	190	札 幌 平 岡	2	加 納 茉 未	1	178	札 幌 大 谷
3	野 崎 嵩 人	2	187	北 海	3	小 山 綾 菜	1	177	札 幌 山 の 手
4	高 岡 博 行	2	187	遠 軽	4	工 藤 陽 香	1	176	札 幌 北 斗
5	木 村 忠 彦	1	187	札 幌 北	5	長 谷 川 恭 美	1	176	登 別 大 谷
6	佐 々 木 淳	1	187	紋 別	6	八 十 科 愛	2	175	東 海 大 四
7	山 本 晃 平	2	186	東 海 大 四	7	馬 田 よ し の	1	175	旭 川 実 業
8	トイ・ケシ卓	1	186	と わ の 森	8	野 口 結 喜	1	175	東 海 大 四
9	道 中 広 樹	2	185	東 海 大 四	9	工 藤 千 聖	1	175	函 館 西
10	原 田 拓 歩	2	185	札 幌 藻 岩	10	大 盛 梢	1	174	札 幌 山 の 手
11	奥 田 基 嗣	2	185	札 幌 第 一	11	齋 藤 葉 月	2	174	旭 川 実 業
12	松 田 晃	2	185	尚 志 学 園	12	小 山 静 香	2	174	札 幌 北 斗
13	山 崎 皓 平	2	185	旭 川 実 業	13	山 本 彩 夏	2	174	帯 広 三 条
14	角 田 旺 弘	2	185	岩 見 沢 東	14	松 田 奈 保 子	2	173	帯 広 三 条
15	小 和 田 幸 太	2	185	札 幌 南 陵	15	渡 辺 茉 理	2	173	札 幌 啓 成
16	豊 間 根 正 宗	2	185	北 海	16	登 晴 香	2	173	中 標 津
17	安 部 大 志	2	181	札 啓 北 商	17	東 出 如 未	1	173	函 館 大 妻
18	十 良 澤 太 一	1	175	尚 志 学 園	18	松 田 明 莉	2	171	札 幌 藻 岩
19	小 野 寺 勇 紀	2	173	と わ の 森	19	中 西 柚 希	2	167	札 幌 大 谷
20	神 園 時	1	170	札 幌 藻 岩	20	高 桑 実 花	2	164	岩 見 沢 西

北海道チームの全国大会戦績の推移 男女とも優勝・準優勝はありませんので、その列は表示しません。

年度	大会名	男 子						女 子					
		ベスト4	ベスト8	ベスト16	2回戦	1回戦	予選	ベスト4	ベスト8	ベスト16	2回戦	1回戦	予選
平8	高体連				東海大4		札幌第一		妹背牛商		旭川実業		
	国体												
	選抜	東海大4				北見緑陵				旭川実業		登別大谷	
平9	高体連					東海大4	札幌第一		妹背牛商	旭川実業			
	国体												
	選抜					北緑・第一				登別大谷	妹背牛商		
平10	高体連				東海大4	札幌第一			旭川実業				妹背牛商
	国体			東海大4								旭川実業	
	選抜		札幌第一			旭川西			旭川実業		旭川実業	札幌大谷	
平11	高体連	東海大4				札幌第一				登別大谷			
	国体		東海大4					旭川実業					
	選抜					旭北・第一						札谷・旭実	
平12	高体連		東海大4		札幌第一								旭実・妹背
	国体				東海大4				旭川実業				
	選抜				白樺・大4						札谷・妹背		
平13	高体連	東海大4		札幌第一							札幌大谷		旭川実業
	国体	東海大4									旭川実業		
	選抜					白樺・大4					札谷・旭実		
平14	高体連				恵庭南		東海大4				札幌大谷	旭川実業	
	国体					恵庭南							
	選抜		東海大4			白樺学園			旭川実業	札幌大谷			
平15	高体連		東海大4			札幌第一					札幌大谷		旭川実業
	国体					東海大4			旭川実業		札幌大谷		
	選抜	東海大4				旭川東					旭川実業	札幌東陵	
平16	高体連			とわの森	東海大4						旭川実業		妹背牛商
	国体			道選抜									北海道
	選抜					とわ・旭東					旭川実業	札幌大谷	
平17	高体連				とわの森		旭川西	札幌大谷					帯広南商
	国体		道選7位								道選抜		
	選抜					大4・白樺					札幌大谷	帯広南商	
平18	高体連				大4・とわ						帯広南商		札幌大谷
	国体			道選抜								道選抜	
	選抜			とわの森		白樺学園					札幌大谷	帯広南商	
平19	高体連				とわの森		東海大4						札谷・帯南
	国体	道選抜4位									道選抜		
	選抜			札幌第一		白樺学園						旭実・札谷	
平20	高体連					第一・とわ					札山の手	札幌大谷	
	国体					道選抜						道選抜	
	選抜			白樺学園	東海大4						札山の手	旭川実業	
平21	高体連						白樺・第一					札山の手	札幌大谷
	国体					道選抜						道選抜	
	選抜			東海大4		札幌第一					帯広南商	札山の手	
平22	高体連					とわの森	札幌藻岩						札谷・帯南
	国体			道選抜								道選抜	
	選手権					とわ・大4						帯南・札谷	

北から 南から

北・・・北見緑陵高等学校男女バレーボール部



北見緑陵高校は、全日制普通科として昭和58年に開校した比較的新しい学校です。部活動が盛んで多くが全道・全国大会へと進み活躍しています。当時の人口に合わせてクラスも増え、平成元年には1学年9クラス規模にふくれあがりました。しかしその後少子化の波を受け、現在1・2年生5クラス、さらに平成25年度からは4クラスと部活動運営としては厳しい状況にあります。そのような中でも開校初期から力をつけ、男子は林隆志監督の下、また女子は横江敏文監督の下で輝かしい戦績を残しました。その伝統は現在でも引き継がれており、全道大会出場において男子は開校28年にして高体連20回（3位1回、ベスト8・5回）、選抜大会18回（優勝2回、準優勝3回、3位1回）、国体20回、新人大会4回、また女子では高体連6回（ベスト8・1回）、選抜大会11回（3位1回）、国体8回、新人大会5回とオホーツク地域の伝統校に肩を並べることができました。

しかし、現在その環境は困難を極め、特に男子において経験者はほぼ入学しないため素人をいかに短期間で育て上げるかが課題になっています。夏季はパスやトレーニングを中心とした基礎練習で、秋からサーブ・レシーブ・スパイク・ブロックなどをおこなうためチーム練習はなかなか行うことができません。また、体育館は他部活との共有のため平日は特に練習時間が確保できません。そのためトレセンを渡り歩き、休日にはできるかぎり練習試合をおこないその中で実践練習を行い、そこから生まれる課題を反復練習によって克服しています。こうした現状において今のチームがあるのも、北見まで足を伸ばしてくれる遠方のチーム、こちらが遠征した際にはいつでも受け入れてくれる諸先輩方や仲間たち、また様々な合宿に誘っていただける環境あってこそだと思います。おかげで現在では、その成果として全道大会で少しずつ戦えるチームになってきました。今後もオホーツクのチームは、部活動の存続も含めて厳しい時代は続きますが、驕らず謙虚に少しでも素人が高いレベルで通用するチーム作りを目指していこうと思います。選手やマネージャー達についても、常に感謝の気持ちを忘れずに「厳しさの先に得られる感動」を目指して日々努力を続けています。

【男子監督 小池 公章】

北から 南から

南・・・恵庭南高等学校男女バレーボール部

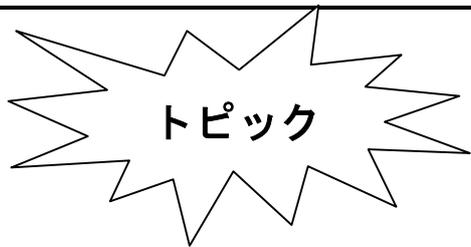


「心・技・体」

北海道恵庭南高等学校は昭和26年に定時制課程として開校し、その後昭和37年には全日制課程が設置され、昭和44年には全道の公立高校で唯一の体育科が設置されました。現在は、各学年全日制課程普通科6間口、体育科2間口、定時制課程普通科1間口の規模であります。運動部はどの部も高いレベルで活躍しており、互いに切磋琢磨し、刺激し合いながら活動しています。

さて、現在、男子バレーボール部は選手11名、マネージャー1名、顧問2名、女子バレーボール部は選手18名、マネージャー1名、顧問3名で活動しています。また、部員は男女とも体育科のみならず普通科の生徒も加入しております。練習環境は恵まれており、第3体育館はほぼ毎日使用することができるとともに、木曜日と金曜日の午後の授業は部活動の時間となっております。自分の専門種目の知識や技術をより高めていくことができるカリキュラムとなっております。また、トレーニング室も完備され、ウエイトトレーニングなども取り入れて筋力アップも図っています。チームの雰囲気は男女とも明るく、部員全員仲が良く、バレーボールが大好きで、毎日元気に精一杯声を出し、練習に励んでいます。平成14年度の高体連、国体では男子前監督藤原正先生（現札幌西陵高校女子バレー部監督）の元で全国大会に出場し、女子は現コーチの木全正樹先生の元で着実に力をつけていました。平成21年度から男子監督は太刀川、女子監督は高橋となり、過去の伝統を受け継ぎながらも、新たな出発としてチームの目標を全道ベスト4以上の常連校そして全国大会出場を果たすことを掲げ、選手には、勝つために決して妥協せず、自分に厳しく日々追い込んで練習することを求めながら、心技体をしっかりと鍛えています。昨年12月の選手権大会では男子はベスト8、女子はベスト16という成績でした。高体連では激戦地区である札幌支部を勝ち上げることも簡単なことではありませんが、何とか強豪校の私学を倒して、全国を目指して戦いたいと思っております。

男子監督 太刀川建一
女子監督 高橋 正恭



◆公式試合球がミカサとモルテンの新型モデルに統一されました。変化しづらいボールになったと言いますが、果たして如何？

◆道高体連 60 周年記念誌完売です。有難うございました。

◆高体連大会の名称が変更になりました

(旧名)

(新名)

全国高等学校バレーボール選手権大会 → 全国高等学校総合体育大会 バレーボール競技会

全国高等学校バレーボール選抜優勝大会 → 全日本バレーボール高等学校選手権大会 (春高バレーは維持)

◆春高バレー (選手権大会) の開催時期が全国大会正月開催に合わせて各地区・全道大会の日程調整が大混乱。果たして、その視聴率は？ 尚、春高の会場が代々木体育館から、東京体育館へ変更・固定化されたことも大きな出来事でした。

※春高バレー全国視聴率比較

日	平成 22 年度			平成 21 年度			
	月 日	放映時間	視聴率	視聴率	月 日	放映時間	
初 日	1/5 (水)	24:55~24:45	3.2 %	2.0 %	3/20 (土)	25:35~26:30	
2 日目	1/6 (木)	24:15~25:05	4.0 %	2.3 %	3/21 (日)	25:00~26:00	
3 日目	1/7 (金)	24:45~25:35	4.6 %	2.5 %	3/22 (月)	25:05~26:00	
4 日目	1/8 (土)	16:00~17:30	5.9 %	3.7 %	3/23 (火)	24:35~25:30	
5 日目	1/9 (日)	(男子)	13:30~14:45	3.8 %	4.8 %	3/24 (水)	24:35~25:30
		(女子)	16:00~17:30	6.1 %			
6 日目				3.4 %	3/25 (木)	24:35~25:55	
7 日目				3.3 %	3/26 (金)	25:05~27:15	
平均視聴率			4.6 %	3.1 %			

※春高バレー全国来場者数

日	平成 22 年度			平成 21 年度		
	月 日	来場者数	累計	来場者数	累計	月 日
初 日	1/5 (水)	15,327		15,814		3/20 (土)
2 日目	1/6 (木)	11,208	26,535	14,129	29,943	3/21 (日)
3 日目	1/7 (金)	7,239	33,774	15,351	45,294	3/22 (月)
4 日目	1/8 (土)	8,170	41,944	6,501	51,795	3/23 (火)
5 日目	1/9 (日)	7,289	49,242	6,241	58,036	3/24 (水)
6 日目				7,197	65,233	3/25 (木)
7 日目				11,364	76,597	3/26 (金)

◆長年、専門部にたずさわり、また稚内協会・高体連名寄支部を支えてくださっていた松本勇市先生がご逝去されました。心からお悔やみ申し上げます。

(紹介) 稚内高校女子部監督、全道高校大会常連チームで、ベスト8にしばしば進出、同チームを北海道トップグループにまで育て上げた。昭和39年~平成6年の長きにわたり、北海道高等学校体育連盟バレーボール専門部委員、また北海道バレーボール協会理事としても活躍。稚内協会会長としても貢献なされた。

平成23年2月10日ご逝去

(道高体連 60 周年記念誌より抜粋)

◆名物監督山田伸二先生（函大有斗高校前監督、現函館白稜高校教頭）が遂にベンチから退くことになりました。写真は年末強化合宿でのご苦労様会の様です。



◆初代専門委員長であり、長年にわたり北海道のバレーボールに大きく貢献されておりました佐々三男先生がご逝去されました。心からお悔やみ申し上げます。以下は、佐々先生の教え子であり、元委員長であった和田肇先生による紹介文です。



「恩師 佐々先生を偲んで」

先生は、北海道高体連バレーボール専門部の初代委員長として、本道高校バレーの基礎を作られました。今から50年以上も前になりますが、本道代表として全国の常任委員会に出席の時は、丁度、高校バレーを9人制から6人制に移行する重要な会議でした。先生は、自分の意見をしっかりと述べ、将来の日本の高校バレーのあるべき姿を示し、6人制移行に大きな影響を与えたと、後に他県の先生方が言っておられました。

先生の20冊あまりの著書は、高校バレーのみならず、小・中・ママさん・一般に及ぶ幅広く、味わい深いものです。なかでも、『本道バレー人脈記』などは、人を大切に

平成22年4月19日ご逝去

する「バレーは人なり」の先生の気持ちがよく表われたものでしょう。

私が、今こうしてバレーを続けてこれたのも、先生の教えがあったからこそと思っています。北高の生徒の時、そして、教員になってからも、いつも励まして下さいました。決して多くのことは言いませんが、「自分のやりたいようにやってみること」、「まずは、子供達を育てること」の言葉は、今でも忘れません。私が函館商業で最初に全国インターハイの出場権を得た稚内大会では、先生は、当番学校である稚内高校の教頭先生でした。釧路星園との準決勝に勝ち、全国出場を決めた時は、先生は泣いて喜んで下さいました。その時の稚内高校女子の監督が、松本勇市先生で今年の2月に亡くなられました。お元気でしたが、突然の訃報で残念でなりません。

おそらく二人でバレー談義に花を咲かせていることでしょう。時々、「こら！ お前らちゃんとやれ」と先生の声が聞こえてくるような気がします。先生、ありがとうございました。ゆっくりお休み下さい。

北海道高等学校体育連盟バレーボール専門部 第5代委員長 和田 肇

◆【要注意!!】 平成23年度において、高体連ルールの変更が大変に多くなっています。特に、リベロに関する取り扱い、タッチネットに関する理解、クイックサブスティテューションの方法が主たるものですが、各チームの代表及び選手の皆さんは専門部HPからダウンロードして理解を徹底して置いてください。特に、あまり気がつかないのですが、いつも問題に取りあげられる「服装」についてここで抜粋しておきますので、よく注意して下さい

「6. その他 ① くるぶしが見えるような短いソックスを履いてのゲームへの参加は禁止とする。

② アンダーウェアを着用の場合、首の部分が外に見えるような場合はチーム・メンバー全員が同じ場合のみ認める。但し、袖やパンツの外に見えるものについては、チーム・メンバー全員が揃っているものでも認めない。

（医療目的のサポーターは除く）」

◆2010年 Vリーグ で活躍している道産子選手

リーグ	男 子			女 子		
	所属チーム	選 手 名	出身高校	所属チーム	選 手 名	出身高校
プレミア リーグ	東レアローズ	古田 史郎	函大有斗	NECレッドロケッツ	渡邊 絢子	旭川実業
	豊田合成トフェルサ	加藤 伊織	札幌北陵	パ・イオニアレッドウィングス	佐々木みき	登別大谷
	サントリーサンパース	二木 健太	旭川 東	パ・イオニアレッドウィングス	成田郁久美	旭川実業
	JTサンダース	塚崎 祐平	東海大四			
	大分三好ガス他アトラ	五十嵐 元	東海大四			
	FC東京	山内 隆宏	東海大四			
	FC東京	加賀 龍哉	東海大四			
チャレンジ リーグ	つくばユニテッド sungaiia	出来田 敬	札幌第一	上尾メディックス	庄司 夕起	妹背牛商業
		山根 孝行	函館 東	健祥会レッドハーツ	松田 直子	旭川実業
		田城 貴之	とわの森	PFU	松下 琴美	旭川実業
	東京ヴェルディ	渡邊 友嗣	苫小牧西	ブルーキャッツ	清水亜寿里	妹背牛商業
		中西 了将	東海大四		門間 希	旭川実業
	赤字 は2010年全日本チーム候補選手			Befco ビービースターズ	渡辺佑梨子	旭川実業
					栗田 琴恵	旭川実業
					山本 摩理	旭川実業
					松崎 涉	札幌山の手
					長池 彩代	札幌山の手

◆平成22年度JVA MRSの高等学校登録選手数・チーム数の北海道の立場

	登録選手数						登録チーム数					
	男子		女子		合計		男子		女子		合計	
1位	東京都	2,587	東京都	4,019	東京都	6,606	東京都	199	東京都	320	東京都	519
2位	愛知県	2,487	大阪府	3,159	愛知県	5,394	愛知県	157	北海道	218	北海道	348
3位	兵庫県	1,838	愛知県	2,907	大阪府	4,964	兵庫県	138	大阪府	203	大阪府	337
4位	大阪府	1,805	北海道	2,797	北海道	4,374	埼玉県	136	神奈川県	195	愛知県	337
5位	千葉県	1,742	神奈川県	2,631	兵庫県		大阪府	134	愛知県	180	神奈川県	326
6位	福岡県	1,625	兵庫県	2,536	神奈川県	4,182	千葉県	131	千葉県	178	千葉県	309
7位	北海道	1,577	千葉県	2,428	千葉県	4,170	神奈川県	131	埼玉県	165	埼玉県	301
8位	神奈川県	1,551	静岡県	2,377	埼玉県	3,869	北海道	130	兵庫県	157	兵庫県	295
9位	静岡県	1,533	福岡県	2,232	福岡県	3,857	福岡県	90	福岡県	120	福岡県	210
10位	埼玉県	1,492	埼玉県	1,907	静岡県	3,440	静岡県	88	静岡県	115	静岡県	203
最少県	徳島県	162	鳥取県	313	鳥取県	530	徳島県	15	鳥取県	26	徳島県	45
強 豪 県	宮城県	860		1,302		2,162		66		83		149
	長野県	1,201		1,256		2,457		76		82		158
	京都府	781		1,212		1,993		54		75		129
	広島県	854		1,597		2,451		68		102		170
	山口県	435		960		1,395		33		61		94
	長崎県	797		1,076		1,873		47		63		110
	大分県	302		603		905		20		42		62
	宮崎県	608		897		1,505		37		47		84
	熊本県	648		1,077		1,725		42		60		102
	鹿児島県	744		1,261		2,005		57		81		138
全国合計		38,430		59,569		97,999		2,777		3,907		6,684